

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2025年10月22日
【会社名】	株式会社L i s B
【英訳名】	L i s B Corp.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長CEO 横井 太輔
【本店の所在の場所】	東京都千代田区岩本町三丁目11番11号
【電話番号】	03-5812-4735（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CF0コーポレート本部長 北嶋 正樹
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区岩本町三丁目11番11号
【電話番号】	03-5812-4735（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役CF0コーポレート本部長 北嶋 正樹
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

2025年10月22日開催の取締役会において、子会社取得を行うことを決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2の規程に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 取得対象子会社の概要（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2に基づく報告内容）

① 商号、本店の所在地、代表者の氏名、資本金の額、純資産の額、総資産の額及び事業の内容

商号	IU BIM STUDIO株式会社
住所	大阪府大阪市西区京町堀1丁目8-35
代表者の氏名	代表取締役社長 出上 雅之
資本金の額	20百万円
純資産の額	76百万円
総資産の額	180百万円
事業の内容	BIMソリューション事業

② 最近3年間に終了した各事業年度の売上高、営業利益、経常利益及び純利益

決算期	2022年10月期	2023年10月期	2024年10月期
売上高	272百万円	346百万円	394百万円
営業利益	20百万円	10百万円	35百万円
経常利益	20百万円	9百万円	36百万円
当期純利益	14百万円	8百万円	26百万円

③ 提出会社との間の資本関係、人的関係及び取引関係

資本関係	該当事項はありません
人的関係	該当事項はありません
取引関係	該当事項はありません

（注1）IU BIM STUDIO株式会社は、BIM市場の急速な拡大やスーパーゼネコンとの豊富な取引実績等を背景に堅調に業績を拡大しており、当社グループイン後も大幅な増益を計画しております。なお、当該計画は現時点における見通しに基づくものであり、当社グループとのシナジーの創出状況や今後の事業環境の変化等により変動する可能性があります。

(2) 取得対象子会社に関する子会社取得の目的

当社は、「アイデアとテクノロジーで人々を笑顔にする！」をミッションとし、徹底した顧客志向のもと主に「現場」を持つ顧客の業務課題をDXによって解決するため、「direct」をはじめとしたサービスをSaaSと呼ばれる形態で提供しています。当社は、顧客課題を解像度高く把握し、サービス開発に速やかに反映することを強みとしており、「direct」の導入企業は5,500社を突破いたしました。また、オーダーメイドのシステム開発を伴うDXコンサルティングも提供しております。

IU BIM STUDIO株式会社は、BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）に関する高度な専門性を有し、BIMモデル作成、ツール開発、コンサルティング等をワンストップで提供する「BIMソリューションプロバイダー」です。特に、スーパーゼネコンとの豊富な取引実績や、独自の教育カリキュラムによるBIM専門人材の育成ノウハウに高い競争優位性を持つ会社であります。

建設業界においては、国土交通省の推進する方針により2023年度から公共事業においてBIM/CIMが原則適用されるなど、BIM市場の急速な拡大が確実視されており、当社顧客からもBIM導入・活用に関する相談が増加しております。

IU BIM STUDIO株式会社をグループ会社を迎えることで、当社グループの注力領域である現場DXソリューションの提供範囲を大きく拡充いたします。当社グループがこれまで強みとしてきた「現場のコミュニケーションDX」に加え、建設プロセスの上流である「設計・計画」領域までカバーし、BIMが取り扱うデータをも対象としたDXソリューションの提供が可能になります。

また、両社の顧客基盤に対するクロスセルの推進、対象会社の業界知見と当社のAI技術・開発力を融合させた新たなソリューション創出、さらに当社の採用力と対象会社の育成ノウハウを組み合わせた専門人材の安定的確保に

より、当社グループの一層の収益力向上および競争力強化に資すると判断した結果、株式取得を行うことといたしました。

(3)取得対象子会社に関する子会社取得の対価の額

IU BIM STUDIO株式会社の普通株式	550百万円
アドバイザー費用等（概算額）	32百万円
合計（概算額）	582百万円

（注1）当該取得価額に加えて、業績の達成度合いに応じて条件付取得対価（以下、アーンアウト対価）をIU BIM STUDIO株式会社の現株式所有者に支払う条項を締結する予定です。アーンアウト対価は、現株式所有者に追加的に支払われる対価であり、IU BIM STUDIO株式会社の2026年10月期における業績の達成度合いに応じて、最大50百万円の支払いが行われます。このアーンアウト対価の導入により、本件買収に伴う当社のリスクを軽減することができます。